

＜様式＞規制改革に関する提案

提案事項名 (タイトル) (必須)	提案の具体的内容及び提案理由 (必須)	規制の根拠 (おわかりであれば)	具体的な根拠法令等 (おわかりであれば)	提案主体名 (会社名・団体名) (必須)
IoT技術活用によるドライバーの健康状態と運転技能見える化～バイタルデータと運転技能解析による公営バスのドライバー定年廃止～	<p>バス運転手の人手不足は深刻な課題となっている。 現状では、公営・民営のバス会社とも一般に、定年制のもと、一定年齢以上に達すると、実際には運転能力のある運転手も一律に離職させている。 しかし、現在の技術を用いれば、 1)ドライバーの本人認証を行ってバイタルセンサーならびにODB II データをリアルタイムで取得し、個々のドライバーの健康状態と運転技能を解析、 2)さらに過去の運転履歴や違反歴、既往歴や定期健康診断結果とも組み合わせることで、一定年齢を超えても、安全運転を継続できるドライバーかどうかを判断することが可能である。これにより、一律定年制を廃止し、高齢者でも継続雇用へつなげることができる。</p> <p>こうした「新たな技術による定年制の廃止」を社会で広げていくうえで、先行的に公営バスでこうした取組を進めることが有効である。しかし、現状では、地方公務員法により「定年による退職」が定められ、これが実現できない。 このため、地方公務員法または地方公営企業法において特例を設け、公営バスの運転手について、上記のような健康状態・運転技能等の確認を前提として、定年制を廃止することを提案する。</p> <p>(参考)実現のためのIoT技術、 1. ドライバーズ本人認証 ・生体認証(顔認証、指紋認証、静脈認証など)により間違いなく本人がその時刻に、その場所で運転していることを認証。 2. バイタルセンサーによる健康状態の取得 ・脈拍、呼吸、体動により、運転中のストレス、眠気を取得に関わるデータを安全にクラウドにアップロード。 ・リモートにてバイタルデータをリアルタイムモニタリング。 脈拍、呼吸、体動により、運転中のストレス、眠気データを取得し、危険を検知した場合、アラート表示を行い、事故を未然に防ぐ。 ・いつ/どこで/誰が+バイタルデータ+運転技能データは機密性の高い個人情報であり、通信を暗号化することによりログを安全に保管、解析。</p>	地方公務員法	地方公務員法第28条の2	サイバートラスト株式会社